

せんだい若手勉強会通信

Vol.2

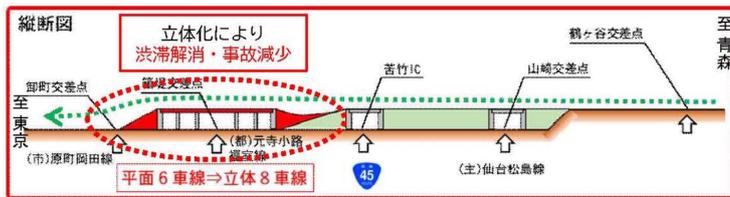
橋梁架設工における最新技術を体験！

○担当
齋藤(3年目)
原田(3年目)
谷口(1年目)
外崎(1年目)
早瀬(1年目)



◆箱堤交差点立体化事業における最新施工技術を体験！ [R4.9.12]

- 国道4号渋滞対策のため、立体化事業が進んでいる箱堤交差点の現場を見学し、最新施工技術を体験しました。
- 交差点の隣接箇所にバントを設置してその上で主桁と手延機を組み立てて送り出して架設する「送り出し架設」により、一夜間で中央径間65m分もの上部工を架設するなど、現場で用いられている技術について説明いただきました。
- MR (複合現実) を用いた説明により今後の施工工程や詳細な構造を視覚的に理解しました。
→MR: 3D画像を現実空間に投影したもの(写真3)



▲立体化のイメージ



箱堤交差点(写真1)

◆MR体験した若手の声



MRを用いた工程確認の様子(写真2)

視覚的に構造を把握しやすく、整備イメージの共有が容易になり、一般向けの現場見学会における理解度の向上が見込めることを確認できました。

送り出し架設工法による施工により、施工ヤードの確保、通行止め時間の短縮等、社会への影響を低減できることを理解できました。



MRデバイスに投影される映像(写真3)

仙台中心部を走る国道4号の慢性的な交通渋滞を解消するため、拡幅事業を行っております。下記リンクから仙台河川国道事務所HPより公表されている事業概要を閲覧することが出来ます。
<http://www.thr.mlit.go.jp/sendai/douro/r4/kakufuku/index.html>